

平成28年度 学校経営計画

都立青山高等学校長 小澤 哲郎

1	目指す学校	進学指導重点校として、難関国公立大学への進学実績の一層の向上を実現するとともに、知徳体の均衡ある全人教育を推進する学校																																						
2	中期的目標と方策	<p>(1) 学習指導の充実</p> <p>生徒一人一人の進路が確実に実現できるよう、教員の専門性と授業力について、進学指導重点校としての高い水準を維持するとともに、最新の指導理論等を踏まえた指導や講習・補習等を実施するなど、学校全体の教育力の一層の向上を目指す。</p> <p>①指導教諭による授業公開に加えて、校内外の研修を活用し、教員個々の専門性の向上と共に学校全体の教育力を向上させる。 ②個々の生徒のニーズや実態に応じた指導を展開するとともに、最新の指導理論や教材を取り入れた学習指導を行う。 ③国公立大学進学に対応することを基本とした学習指導を行うとともに、講習等を実施して校内での学習を質量共に保証する。 ④オリンピック・パラリンピック教育等、喫緊の教育課題に対応した内容を学習指導に取り入れる。 ⑤英語教育推進校として、ICT機器等を活用した新たな学習スタイルを取り入れるなど、生徒に実践的な英語力を身に付けさせる。</p>	<p>(2) 進路指導の充実</p> <p>系統的・計画的に進路指導をより一層充実し、志を高くもって進路希望を実現できる生徒の育成を目指す。</p> <p>①系統的・計画的に進路指導を行うことにより、難関国公立大学等への進学実績をさらに向上させる。また、生徒一人一人の実態を教職員全員で把握し、各教科等での適切な指導を引き続き実施する。 ②キャリア教育を推進し、望ましい勤労観・職業観を育む。 ③自己管理能力やコミュニケーション能力の向上につながる指導を行う。</p>	<p>(3) 生活指導の充実</p> <p>公共心、道徳心を涵養し、規範意識をもって社会に貢献しようとする生徒の育成を目指す。</p> <p>①思いやりある言動ができるよう指導することにより、公共心や道徳心を涵養することの多いよう、自他の生命等を尊重する豊かな心や態度を育成する。 ③基本的生活習慣等の徹底を図り、自立した社会生活を営むための基礎を培う。 ④将来、社会のリーダーになるという自覚を高め、積極的に社会に貢献しようとする態度を育成する。</p>																																				
3	(1) 教育目標と方策	<p>①指導教諭による授業公開に加えて、教員同士が相互に授業参観を行う校内での研修を実施するとともに、教職員研修センター等の外部の研修も活用して、教員個々の専門性の向上と共に学校全体の教育力を向上させる。 ②生徒の苦手な分野や模擬試験等の結果等に関する情報を学校全体で共有し、生徒の実態や希望に応じた適切な指導を一層充実するとともに、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた指導法の工夫や、学校図書館の活用促進などにより、生徒の主体的な学習活動へと質的向上を図る。 ③国公立大学進学に対応した学習指導を基本とし、幅広い教養を身に付けさせるため全科目を履修・修得させる。理系進学者を全体の4割程度確保するとともに、文系進学者の理数離れを防ぐ。また、長期休業期間中の講習、平常授業期間中の補習、自習室の開放やチューターの配置等の支援を行うなど、校内での学習を質量共に保証し、学習の習慣を徹底して身に付けさせる。 ④東京都オリンピック・パラリンピック教育実施指針に基づき、全教科においてオリンピック・パラリンピック教育の内容を取り入れるとともに、障害者理解、障害者スポーツの理解、主権者教育、防災教育、アレルギー疾患に係る教育、人権教育等の喫緊の教育課題に対応した内容を単元等に応じて取り扱う。 ⑤英語教育推進校として、ICT機器を活用したオンライン英会話学習などを取り入れ、生徒に実践的な英語力を身に付けさせるとともに、各教科において、日本及び諸外国の伝統文化、歴史、生活、社会、学芸等について幅広く学び、将来、国際社会で活躍できる人材の育成に資する教育活動を展開する。</p>																																						
3	(2) 重点目標と方策	<p>教員個々の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の作成と到達目標の公表 毎月教科会等で進捗状況を確認・調整 生徒による授業評価を年2回実施し、指導を工夫・改善 教員の相互授業参観を年2回(6月、11月)実施 学校図書館の活用促進等により生徒の1か月間の不読率を10%以下に低減 	<p>進路指導の充実と進路実績の一層の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路全体計画の策定と着実な実施 3学年進路職員会議の実施 模擬試験ごとの志望者リストの作成と学習スケジュールの指導 模擬試験は、学年集会で各教科担当の解説を加えて返却 校内作成学力テスト、外部模擬試験の実施 講習及び補習の実施(3年：難関国公立大、1・2年：習熟度別) 3年:センター試験・シミュレーション・テストの実施、センター試験及び二次試験対応時間割の編成(2学期末から1月末まで) 模擬試験等の成績上位者の掲示 自習室の利用促進 	<p>公共心・道徳心の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が一致して指導 儀式的行事での校歌等の斉唱指導による自尊感情の高揚 																																				
3	(3) 数値目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="191 1635 766 2038"> <p>難関国公立大現役合格者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>難関国公立大</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>旧帝大を含む難関国公立大</td> <td>12</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>26</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成28年度は、旧帝大を含む難関国公立大合格者3名増を目指す</p> </div> <div data-bbox="829 1635 1404 2038"> <p>国公立大・難関私大現役合格者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立大</td> <td>56</td> <td>95</td> <td>108</td> <td>103</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>難関私大</td> <td>167</td> <td>158</td> <td>135</td> <td>144</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成28年度は、国公立大合格者全体で7名増を目指す</p> </div> </div>			平成年度	24	25	26	27	28	難関国公立大	6	15	15	22	24	旧帝大を含む難関国公立大	12	22	17	26	29	平成年度	24	25	26	27	28	国公立大	56	95	108	103	110	難関私大	167	158	135	144	140
平成年度	24	25	26	27	28																																			
難関国公立大	6	15	15	22	24																																			
旧帝大を含む難関国公立大	12	22	17	26	29																																			
平成年度	24	25	26	27	28																																			
国公立大	56	95	108	103	110																																			
難関私大	167	158	135	144	140																																			

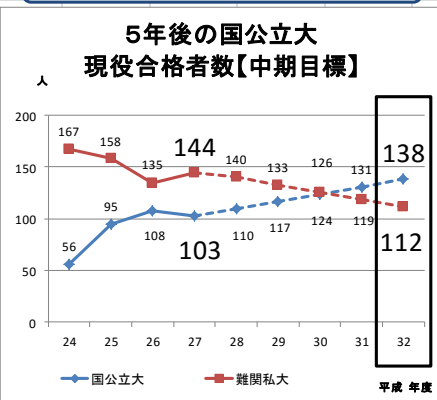
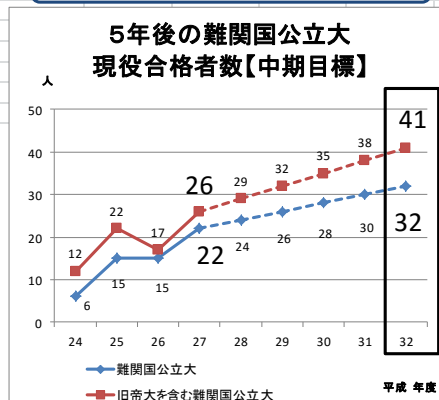
- (1) 都立の名門校として、難関国公立大学や難関私立大学に進学するという生徒の夢と希望を実現する学校
- (2) あらゆる教育活動において、生徒が知性を高め、情操を豊かにするとともに、個性を伸ばせる学校
- (3) 部活動や学校行事等の特別活動をととして健康な心身や社会性等を培い、将来のリーダーになり得る人材を育成する学校

(4) 特別活動の充実	(5) 生徒の健康づくりの充実	(6) 広報・募集活動の充実	(7) 学校経営の充実	(8) 地域貢献の充実
学校行事をより教育効果のあるものに改善するとともに、部活動への積極的な取組を奨励し、心身の健康の向上と社会性の涵養を図る。	心身の健康維持を図るとともに、心の問題や対人関係に悩む生徒を支援する。	教育活動の広報を通して本校への理解を促し、生徒募集活動を推進する。	円滑な教育活動の実施に必要な組織と施設・設備の充実を図る。	開かれた学校づくりや地域連携を推進し、生徒が有為な社会人となるための資質を育む。
①学校行事の教育的意義やねらいを踏まえ、最も大きな教育効果が期待できる内容や実施時期等を考慮して実施する。 ②部活動への加入率を一層高め、健康な体づくりの定着など、健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。 ③公職選挙法の改正を踏まえ、生徒会活動の意義を理解させ、その充実を図る。	①学校保健計画に基づき、生徒の心身の健康づくりや体力向上に資する取組を推進する。 ②発達障害の理解を含め、教員のカウンセリング能力を高めて、相談体制の充実を図る。 ③スクールカウンセラーを活用し、合理的配慮や支援を必要とする生徒への支援を行う。	①ホームページや都立高校合同説明会等を活用して、教育活動の特色等を発信する。 ②小中学生やその保護者に対する学校説明会、入試問題解説会等を展開し、公立学校で学ぶ良さをアピールする。 ③各区市町村教育委員会や中学校等が主催する学校説明会等に参加し、応募者の増大に結び付ける。	①主幹教諭、指導教諭が学校経営上の課題解決に率先して取り組むとともに、主任教諭が力量を発揮できる役割を担わせる。 ②体罰及び個人情報漏えい等がないよう、服務事故防止に向けて職員の意識啓発を行う。 ③自律経営推進予算の効率的執行や私費の適正な管理を継続するとともに、経営企画室の経営参画を促進する。	①オリンピック・パラリンピック教育の一環として、地域や地域の小中学校等との交流をととして地域貢献を強める。 ②地域行事への参加や地域の清掃活動等を推進し、地域の核となる活動を展開することにより、積極的に社会に貢献しようとする態度を育成する。
①学校行事の教育的意義やねらいを踏まえ、その内容を常に改善するとともに、最も大きな教育効果が期待できる内容や実施時期等を考慮して実施する。 ②部活動への加入率を一層高め、健康な体づくりの定着を図るとともに、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。 ③公職選挙法の改正を踏まえ、投票行動や一定の政治活動を行う素地を養うよう、生徒会活動の意義を理解させ、その充実を図る。	①学校保健計画に基づき、生徒の心身の健康づくりを計画的に推進し、健康管理の重要性を認識し、自己管理する能力を高める。また、体力向上に資する取組を推進する。 ②発達障害の理解を含め、生徒理解に関わる最新の理論や情報を踏まえ、教員のカウンセリング能力を高めて、相談体制の充実を図る。 ③スクールカウンセラーを活用し、特別支援委員会を中心に、合理的配慮や支援を必要とする生徒の情報を管理・共有し、指導・育成に役立て、継続的に生徒・保護者を支援する。1年生には、スクールカウンセラーによる全員面接を実施する。	①ホームページや学校説明会、都立高校合同説明会等を活用して、教育活動の特色や生徒の学校生活の様子等を発信する。 ②小中学生やその保護者に対する学校説明会、入試問題解説会、体験入学等を積極的に展開し、私学等への進学を考える早い時期から中高まで一貫して公立学校で学ぶ良さをアピールして、応募者の増大につなげる。 ③各区市町村教育委員会や中学校、PTA等が主催する学校説明会等に参加し、中学生等の相談に個別に応じて、より志望動機の明確な応募者の獲得に結び付ける。	①主幹教諭、指導教諭が学校経営上の課題解決に率先して取り組む。教科及び分掌、学年には、主任及び副主任を置き、副主任には主任教諭を充てる。また、各種委員会には、分掌や学年の副主任を充てる。 ②体罰及び個人情報漏えい等がないよう、服務事故防止に向けて、管理職による啓発や研修を実施し、服務事故ゼロを達成する。 ③自律経営推進予算を効率的に執行するとともに、私費徴収等についても適正な管理を徹底する。また、80周年記念行事を見据え、教員との連携をより強化し、経営参画ガイドラインを踏まえて、経営企画型経営企画室の実現を図る。	①オリンピック・パラリンピック教育の一環として、東京ユースボランティアやスマイルプロジェクトなどのボランティア活動、パラリンピアンや地域の小中学校、特別支援学校との交流などの活動を推進する。 ②地域行事への参加や地域の清掃活動など、校外での活動を行うとともに、外苑祭などの質の高い学校行事を広く都民に公開し、より一層質の高い教育活動の展開に結び付けることにより、社会のリーダーになるという自覚を高め、積極的に社会に貢献しようとする態度を育成する。
外苑祭の一層の充実 ・演劇等の質の高い文化的行事としての外苑祭の一層の充実 ・来校者5,000名以上 ・部活動加入率95%以上	心身の健康づくり ・自己管理能力の向上 ・体力向上 ・部活動等の奨励 ・相談体制の強化 ・スクールカウンセラーの活用	学校説明会の充実 ・学校説明会参加者2,000名以上 ・学校ホームページへのアクセス数月平均25,000以上	ミドルリーダーによる学校経営の充実 ・主幹教諭、指導教諭、主任教諭等の優れた実践に支えられた学校経営の継続 ・適材適所による学校全体の教育力の一層の向上	交流活動の推進 ・ボランティア活動や交流活動の推進 ・質の高い教育活動をととしての地域貢献

5年後には、20人中3人が難関国公立大に！

5年後には、5割が国公立大に！

【参考】合格者数と模擬試験の平均偏差値の推移



	模試3教科総合の平均偏差値				合格者数(人)		
	高一 7月	高一 11月	高二 7月	高二 11月	難関国 公立大 等	旧帝大を 含む難関 国公立大 等	国公立 大
2年生	66.1	66.1					
3年生	66.0	64.9	61.2	62.3	24	29	110
2.8卒業生	65.8	66.3	61.9	62.9	22	26	103
2.7卒業生	64.6	64.8	62.6	62.2	15	18	108
2.6卒業生	65.2	63.7	62.3	61.7	17	27	95
2.5卒業生	63.4	62.5	59.7	59.4	6	13	56
2.4卒業生	62.7	63.3	60.7	57.8	8	15	61
2.3卒業生	62.4	62.4	60.0	58.0	6	7	66
2.2卒業生	65.3	63.7	60.8	58.6	8	9	51